



栄養指導のDX (デジタルトランスフォーメーション)

栄養指導の現場でパーソナライズされた栄養指導を行うことや、指導記録を残すことの大事さが言われる一方、そのような場でスマートフォンなどの情報通信機器を使いこなすことはあまり普及していません。今回のセミナーではJST共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)の2つのパイオ拠点(筑波大学・国立循環器病研究センター)に参画されている先生をお招きし栄養指導でのデジタル機器利用について情報共有を進め、栄養指導のDX促進を目指します。

7月9日 土 13:00-15:00

【受講料】：無料 【開催方法】：ライブ配信 (ZOOM利用)

筑波大学 司会：矢作直也

13:00-13:25 株式会社おいしい健康 代表取締役CEO 野尻哲也
「スマートフォンアプリを用いた栄養指導とData Nutritionの可能性」

13:25-13:50 医療AIプラットフォーム技術研究組合 理事長/BIPROGY株式会社 常務執行役員 八田泰秀
「AIホスピタルの社会実装に向けて～医療AIプラットフォームのご紹介～」

国立循環器病研究センター 司会：宮本恵宏

13:50-14:15 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 食品保健機能研究部 食品安全・機能研究室、室長 東泉裕子

「非対面の食事記録調査におけるZoomを活用した摂取量推定の試み」

14:15-14:40 国立循環器病研究センター 健診部 特任部長 小久保喜弘 (共創の場国循拠点：研究開発課題6/デジタルヘルスケア構築/リーダー)
「オンライン栄養指導とその難しさ」

主催 一般社団法人日本臨床栄養協会

共催 つくば型デジタルバイオエコノミー社会形成の国際拠点

お申込みは
こちらから！

